

やまがら

2022年
秋号

No.48

松山市議会議員

梶原ときよし

新会派：新風会(交渉会派：3人)を結成しました



やまがら(山雀)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

あなたが尊重される社会へ

- 松山市立の総合病院を設立し、コロナ等感染症対策を含め市民の命を守ろう！
- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切に、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

とりわけ本市でいえば、この夏はプロ野球オールスターゲームの開催、花火大会に松山まつりと集客イベントの花盛りでした。今になって「近県への旅行は控えてください」と？でも何か変？四国では愛媛が一番感染者が多いのに、県外の方が安心ではないの？家族全員ワクチン3回打ったのに、皆んなコロナにかかった！何を信じたらいいののか？

もう、いかげん物価対策を含め何もできない政治家は退場してほしいと考えるのは私だけでしょうか。政府は7月22日の閣議でアベ元総理の「国葬」を9月27日に行うと決定しましたが、過半数を超える国民が反対の意思表示をしているのが現状です。

初めにコロナ対策ですが、8月末現在、全国では連日10万人以上、愛媛でも毎日1000人から3000人ものコロナ感染者が出ています。何故、急に増えたのでしょうか？

新風会の梶原時義でございます。質問の前に、不十分なコロナ対策や国民の過半数が反対するアベ元総理の「国葬」強行で暴走する岸田自公政権に対し、或いは旧統一教会とつながりのある自民党政治に対し、梶原時義から(法の支配と立憲主義を破壊する政治をやめよう)私見を述べたいと思います。

「国葬」反対！
強行は立憲主義に反する!!

2022年9月議会
代表質問前文

梶原 ときよし
2022.9.9

大企業が世界一金儲けしやすい国にするとして、働く人が誰も望んでいない非正規社員を大幅に増やし、年収200万円程度しかない若者を大量につくり出したために、結婚したくても経済的に諦めるしかないと言った環境をつくったことで、国の力



今年も8月6日は、広島に平和祈願と集会へ。

元々、アベさんの現職時代の実績は悪行のオンパレードでした。岸田さんが「国葬」さえ言わなければ、蒸し返されることはなかったとしたら可哀想な気もしますが、「モリ・カケ・サクラ」に見る政治の私物化」はもとより、「憲法違反の教育基本法の改悪」に始まり、「解釈改憲で集団的自衛権とやらを容認し日米軍事同盟を行うためのいわゆる戦争法の施行」など、戦争を放棄する平和主義の日本からアメリカと共に集団で戦争をする国日本に変えてしまったのがアベ政治の実態でした。

●「国葬」に対する国民世論の反対理由は
(1)「国葬」をする法的根拠が存在しない事
(2)特定の個人の葬儀費用を国がまかなう事は、
法の下の平等や思想信条の自由を侵すことになるだけでなく、財政民主主義を定める憲法に違反する、つまり法の支配が基本の立憲主義に反することになります



8.6 平和集会と「国葬」反対デモに参加！

を弱め少子高齢人口減少社会に拍車をかけたのが、まさしくアベ政治の中身だったように私には思えます。

議長が暴走(市長に忖度?)発言許可を求める議員を無視!! 9月議会開催日(9/2)松山市議会100年の歴史に汚点を残す越権行為!

梶原議員が挙手の上「議長」と叫び3度にわたり発言許可を求めましたが、議長はこれを無視して議会を閉会するという暴挙を行いました。



これを受け9月8日の本会議で、梶原議員が9月2日の議事進行説明を求め動議を出しましたが、説明を行う事を否決し、反省もなく議事を進めようとしたため、やむなく議長不信任の動議を提出しました。

5時間空転の間に、議長より梶原議員に対し「議員の発言権を認めなかった事を反省し、2度とこのような失態を起こさないように対応する」との申し入れがあり、不信任動議を撤回しました。

議事進行説明の動議(全文)

○梶原議員

梶原時義です。動議を出します。

内容は、今日2日の9月議会初日の本会議におきまして私が挙手の上、議長と叫び、3度にわたり発言の許可を求めましたが、渡部議長はそれを無視して議事を進めました。

議員の発言許可申請を無視して発言許可を出さないという暴挙はあってはならず、議長の裁量権を超えた議会制民主主義を否定する行動であり、絶対に許されません。つまり、民主的議会運営ができない議長の下での議会の開催などあり得ないということです。ゆえに、この際、本件の説明と謝罪及び撤回を求めるものです。

私は、市長や執行部から、9月1日に辞職をされた梅岡副市長辞任の報告がなされることなく、何もなかったかのごとく議会が開会されることは、そもそも副市長は議会承認人事であることを踏まえてもあってはならないと思います、副市長辞任に関する説明を求める動議を提出するために、議長と叫び発言許可を求めたものです。

渡部議長と黒川議会議務局長が議員の発言権を無視して許可しなかった行動は、松山市議会議規則第52条・発言通告をしない者の発言、及び緊急質問等で認め

松山市議会5時間空転 議長に不信任動議

議事進行問題視
議長に不信任動議

9月9日付 愛媛新聞

られている第62条に反するだけでなく、議会基本条例第4条・議員の活動原則及び議長の責務にある「議会が言論の府であることを認識し、議員の自由な討論を重んじ、議会で十分に審議及び討論を尽くすこと」

さらには、「議長は議会の代弁者として中立かつ公平な職務遂行に努めるとともに、民主的な議会運営に努めなければならない」この点にも違反するだけにとどまらず、松山市議会100年の歴史に汚点を残すものです。全議員が納得する説明を求めます。動議は以上です。

議長不信任の動議(全文)

○梶原議員

議長不信任の動議を提出します。

内容は、先ほど申し上げました内容と一部重複しますが、9月2日の議会初日の本会議におきまして、私が挙手の上議長と叫び3度にわたり発言の許可を求めましたが、渡部議長はこれを無視して議事を進めました。

議員の発言許可申請を無視して、発言許可を出さないという暴挙はあってはならず、議長の裁量権を超えた議会制民主主義を否定する行動であり許されません。ゆえに、謝罪と撤回を求めるものです。

今日9月8日の本会議にこのことを私が動議を出しましたが、全く十分な対応もせず、反省することもなく、不誠実な態度に終始する渡部議長の議会運営、これでは議員や市民の信頼を得ることは難しいと判断をいたします。

よって、渡部克彦議長の不信任案を提出するものです。暫時休憩を求めます。

梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258
FAX 089-947-2259

携帯 080-5669-8586

E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

- 午後1時～午後5時まで(月～金)
- 土・日・祝日はお休みです。



お近くにお越しの際は、
ぜひお立ち寄りください。



HPでは梶原の活動予定や 全定例議会での質問登壇が 動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。
ご連絡ください。

ホーム
ページ

梶原ときよし 公式ホームページ

検索

2010年の初当選以来4期13年目、全定例会市議会50議会連続登壇を続けています。(連続登壇記録更新中)